

應用診斷法

- (六) 通常心尖上ニ收縮期的雜音ヲ聽ク
- (七) 皮膚靜脈多クハ充盈ス

慢性心内膜炎

(III) 慢性心内膜炎 (Endocarditis chronica)

- (一) 皮膚ハ殊ニ代償機障有ルトキハちあの一ゼテ呈ス
- (二) 代償機障有ルトキハ鬱血性水腫ヲ來ス
- (三) 屢々呼吸困難有リ殊ニ強劇ノ運動ニ於テ然リ然ドモ代償機障ヲ起ストキハ安靜時ト雖之有リ(心臟性喘

左室ノ擴張及肥大

右室ノ擴張及肥大

- (一) 心臟部ノ隆起少ナシ
- (二) 心跳下方ニ轉位シ外方ニ轉位スルコト少ナク且ツ廣延ス其強弱ハ下文ヲ看ヨ
- (三) 往々右第二肋間ニ於テ收縮期的隆起ヲ見ル殊ニ大動脈ノ起始部同時ニ擴張セル時ニ然リトス其他胸骨ノ左側ニ屢々隆起(心跳)ヲ見ル可シ
- (四) 心尖部ニ於テ強キ隆起ヲ觸ル可シ(大動脈狹窄ヲ除ク)右第二肋間ニ於テ稀ニ開張期的衝突ヲ見ル
- (五) 心濁音部ハ左下方ニ増大シ就中比較的濁音ハ多少乳線ヲ越エ下方第六肋間及之ヨリ下部ニ達ス
- (六) 第二大動脈音屢々強盛ス可シ

- (一) 屢々心臟部隆起ス
- (二) 心跳外方ニ轉位シ下方ニ轉位スルハ少ナク且ツ廣延ス其強弱ハ下文ヲ看ヨ
- (三) 往々左第二肋間ニ於テ收縮期的搏動ヲ見ル殊ニ左肺ノ壓迫或ハ退縮ニ於テ然リトス其他時トシテ胸骨部ノ隆起ヲ認ムルコト有リ
- (四) 胸骨ノ基底上及其稍、左方ニ多少強キ隆起ヲ觸ル可シ又左第二肋間ニ於テ間、開張期的衝突ヲ見ルコト有リ
- (五) 鈍心濁音部ハ右上方ニ増大シ比較的濁音部ハ常ニ右方ニ増大シ多少胸骨ノ右緣ヲ超過ス
- (六) 第二肺動脈音強盛シ憂性ヲ帶ブ

此他其症狀ハ瓣膜疾患ノ部位及種類ニ由リテ異ナルコト左ニ示スガ如シ

| | | | | |
|---|--|--|--|---------------------------------------|
| 大動脈不全閉鎖 | 左動脈口ノ狹窄 | 僧帽瓣膜不全閉鎖 | 左靜脈口狹窄 | 三尖瓣膜不全閉鎖 (多クハ比較的) |
| (一) 心跳非常ニ強ク且ツ廣シ左室ノ擴張及肥大アリ時トシテハ右第二肋間ニ於テ開張期的衝動ヲ觸ル | (一) 心跳多クハ甚ダ弱ク或ハ缺如シ左室擴張肥大シ間、右第二肋間ニ於テ收縮期的衝動ヲ觸ル | (一) 心跳多クハ強ク右室擴張肥大シ後チ左室擴張肥大ス、心尖部ニ於テハ間、收縮期的衝動ヲ觸ル | (一) 心跳弱ク或ハ中等強ニシテ右室擴張肥大シ間、亦左室肥大ス、心尖部ニ於テハ時トシテ開張期的衝動ヲ觸ル | (一) 心跳稍、廣ク右室及殊ニ前房擴張シ前者ハ亦間、肥大ス |
| (二) 第二大動脈音間、強盛シ第一僧帽瓣膜音屢々減弱シ或ハ分裂ス | (二) 第二大動脈音間、強盛スルモ減弱スルコト多シ | (二) 第一僧帽瓣膜音減弱シ或ハ缺如ス第二肺動脈音強盛シ第二大動脈音ハ間、減弱ス | (二) 第一僧帽瓣膜音及第二肺動脈音ハ共ニ強盛シ第二大動脈音ハ多クハ減弱ス、半月様瓣上ニ於ケル第二音ハ屢々分裂ス | (二) 第二肺動脈音減弱ス |
| (三) 開張期的雜音有リ胸骨右緣ニ於テ最も高明ニシテ屢々左方ニ蔓延スルヲ聽ク | (三) 收縮期的雜音有リ胸骨右緣ニ於テ最も高明ナルモ屢々左方ニ廣延スルヲ聽ク | (三) 收縮期的雜音有リ心尖部ニ於テ最も高明、窄ニハ左第二肋間ニ於テ高明ナリ | (三) 毫モ雜音ヲ聽カザルカ或ハ開張期的雜音ヲ聽クコトアリ或ハ收縮期前雜音ヲ | (三) 收縮期的雜音有リ胸骨基底ニ於テ最も高ク、窄ニハ心尖上ニ於テ最も高シ |

器質諸病

應用診斷法

其他時トシテ心尖部ニ收縮期的雜音ヲ聽ク

(四)頸動脈其他末梢ノ動脈ニ強キ搏動有リ間ニ肝動脈脈搏ヲ來シ脈搏ハ多クハ僅カニ亢進スルノミニシテ脈整然タレドモ高ク又屢々小動脈ニ於テモ搏動ヲ觸ル疾速ナリ逆衝隆起ハ多クハ缺如ス第一大動脈音強盛シ又小動脈上ニ於テ之ヲ聽取ス頸動脈上ノ第二音ハ消失シ

(四)脈搏屢々甚ダ緩徐ニシテ脈不整ナルコト有リ又小ニシテ虛ナリ時トシテ頸動脈上ニ雜音ヲ聽キ屢々第二音ヲ缺如ス皮膚靜脈ハ屢々努張シ消極的靜脈脈搏ヲ呈ス是レ大動脈不全閉鎖ニ於テモ屢々見ル所ナリ

(四)屢々心窩搏動有リ皮膚靜脈ハ通常努張シ且ツ消極的靜脈脈搏ヲ呈ス

聽クコト有リ共ニ心跳ノ外縁ニ於テ最モ顯著ナル者ナリ而シテ第一ノ場合ニ於テハ運動ノ後間ニ雜音ヲ聽クコト有リ

(四)往々肝靜脈脈搏有リ皮膚靜脈努張シ時トシテ積極的靜脈脈搏若クハ靜脈球脈搏ヲ呈ス

之ニ代フルニ屢々雜音ヲ以テス又股動脈上ニハ時トシテ重複音或ハ重複雜音ヲ聽ク

(五)脈搏ハ多ク頻數ニシテ脈不整ナルコト有リ爾他特異ノ徵無シ

(五)脈ハ小ニシテ虛ナルコト多ク又彈力性隆起減少ス

(五)時トシテ頸靜脈上ニ收縮期的音ヲ聽ク

先天性心臟異常

(六)肝臟ハ多ク増大ス(鬱血肝)
(七)脾臟モ亦増大シ、大動脈不全閉鎖ニ於テハ罕ニ脾ノ搏動ヲ觸ルルコト有リ

(八)尿ハ殊ニ代償機障ヲ存スルトキハ鬱血尿ノ性質ヲ呈ス(鬱血腎ヲ看ヨ)

(三三) 先天性心臟異常 (angeborene Herzanomalien)

(一)多クハ著シキちあのーぜヲ呈ス
(二)呼吸促進アリ

(三)循環器ノ狀況次ノ如シ

右○靜脈○口○ノ○狹○窄○
(常ニ三尖瓣不全閉鎖ヲ合併ス)

肺○動○脈○不○全○閉○鎖○

右○動○脈○口○ノ○狹○窄○

卵○圓○孔○ボ○タ○リ○氏○動○脈○管○等○ノ○開○通○

(二)第二肺動脈音弱シ

(二)右室擴張且肥大ス

(二)右室擴張肥大シ屢々

(二)心臟上ニ收縮期的雜音ヲ聽ク

器質諸病

- (一) 開張期的雜音ハ左第
二肋間ノ胸骨緣ニ於テ
最モ顯著ナリ
- (二) 開張期的雜音ハ左第
二肋間ニ於テ最モ強シ
- (三) 脈多クハ小ナリ

- 左第二肋間ニ於テ收縮
期的衝動ヲ觸レ第二肺
動脈音缺如シ若クハ減
弱ス
- (二) 左第二肋間或ハ其下
部ニ於テ收縮期的騷鳴
ヲ聽ク
- (三) 脈小ナリ

脂肪心

(三四) 脂肪心 (Fatty)

- (一) 皮膚屢ニ蒼白ニシテ代償機障碍有ルトキハちあの一
ゼヲ呈ス
- (二) 不全閉鎖ヲ起ストキハ鬱血性水腫ヲ來ス
- (三) 通常殊ニ勞働ノ際呼吸困難有リ又シャイン・ストック
ス氏ノ呼吸現象ヲ見ルコト有リ
- (四) 心跳ハ屢ニ下方ニ偏倚シ(心臟單ニ擴張スル際)又屢ニ
減弱乃至消失スルコトアリ
- (五) 心音ハ多クハ微弱ニシテ間、心尖及第二肋間ニ於テ

收縮的雜音ヲ聽ク

- (六) 皮膚靜脈ハ屢ニ異常ニ緊張ス
- (七) 脈搏屢ニ頻數ナルモ亦時ニ異常ニ緩徐ナルコト有リ
而シテ各症ニ於テ心悸動發作アリ脈不整ニシテ小且軟
ナリ
- (八) 鬱血肝ヲ見ルコト有リ
- (九) 又鬱血腎ヲ見ルコト有リ

大動脈動脈

(三五) 大動脈動脈瘤 (Aneurysma der Aorta)

- (一) 氣管壓迫セララルトキハ皮膚ちあの一ゼヲ呈ス

- (二) 往々返廻神經麻痺ヲ來スコト有リ多クハ左側ニシテ

其右側ニ來ルハ罕ナリ

- (三) 通常多少ノ短息アリ
- (四) 動脈瘤若シ左側ノ氣管枝幹ヲ壓迫スルトキハ左肺上
ノ呼吸音減弱乃至消失ス
- (五) 心跳ハ下方ニ轉位シ、廣延シ且強盛ス(左室肥大)
- (六) 右第二肋間(上行大動脈瘤)或ハ頸靜脈窩(大動脈弓
瘤)ニ於テ間、搏動ト共ニ隆起ヲ見ル
- (七) 該部ニ亦收縮期的若クハ開張期的衝突ヲ觸レ又間、
心内騒鳴ヲ觸ルルコト有リ
- (八) 心濁音部増大スルコト有リ(左室擴張)右第二肋間
(上行大動脈瘤)或ハ胸骨把柄上(大動脈弓瘤)ニ於テ濁

音ヲ呈ス

- (九) 第二大動脈音強盛ス、右第二肋間或ハ胸骨把柄上ニ
於テ或ハ單ニ收縮期的雜音或ハ單ニ開張期的雜音ヲ聽
キ或ハ重複雜音ヲ聽ク
- (一〇) 頸靜脈窩ニ搏動アリ又間、心窩搏動ヲ見ル(後者ハ腹
部大動脈瘤ニ於テ殊ニ著シ)
- (一一) 脈ハ大動脈弓ノ動脈瘤ニ於テハ身體ノ各部ニ從ヒ異
ニシテ小ナルコト無シ
- (一二) 時トシテ大ナル血管上ニ收縮期的雜音ヲ聽ク
- (一三) 食道狹窄ヲ起スコト有リ

動脈硬變症

(三六) 動脈硬變症 (Arteriosclerosis)

- (一) 心跳下方ニ偏シ且廣延強盛ス(左室ノ擴張及肥大)
- (二) 右第二肋間ニ於テ間、搏動ヲ見ル
- (三) 第二動脈音屢ニ強盛シ時トシテ鐘響ヲ帶ブ
- (四) 皮膚動脈蠕屈ス
- (五) 皮膚動脈ヲ觸ルルニ勁硬ニシテ脈搏屢ニ異常ニ緩徐
ナリ冠狀動脈硬變症ニ在リテハ狭心性發作ヲ來スコト

有リ

- 脈搏ハ(殊ニ冠狀動脈硬變症ニ於テ)不正ト爲リ昇脚隆
起ヲ呈シ彈力性隆起減少シ又逆衝隆起ノ減少ヲ來スコ
ト有リ
- (六) 第一大動脈音間、強盛ス

消化器系諸病

(丙) 消化器系諸病

器質諸病

口内炎

(三七) 口内炎 (Stomatitis).

- (一) 口腔粘膜ハ赤色ヲ顯ハシ且腫脹シ時トシテ潰瘍有リ、贅口瘡ニ在リテハ白色斑狀ノ沈著物ヲ著ク
- (二) 唾液ノ分泌增多シ其中ニ上皮及ろいこちにてんヲ存

シ贅口瘡ニ在リテハ沈著物中ニをいちうむあるびがんすヲ見ル

口峽炎又あ

(三八) 口峽炎又あんざな (Angina).

- (一) 熱有ルコト多キモ一定ノ定型ヲ呈スルコト無シ然レドモ屢、惡寒ヲ以テ體温速ニ昇騰シ二乃至五日間稽留シ分利ヲ以テ下降スルコト有リ
- (二) 短息ヲ見ルコト有リ
- (三) 舌増大シ偏側或ハ兩側ノ扁桃腺ニ通常亦軟口蓋潮紅シ且多少腫脹ス又扁桃腺ニハ其表面ニ黄色栓ヲ著ク

ルコト有レドモ容易ニ拭去シ得可ク義膜ヲ缺如シ咽頭モ亦之ニ侵サルルコト無キモ屢、膿瘍ヲ生ズルコト有リ

急性咽頭炎

(三九) 急性咽頭炎 (Pharyngitis acuta).

咽頭ノ粘膜赤腫シ灰白色或ハ黄色ノ粘液ヲ以テ被ハルルコト多シ

濾胞ノ増大ヲ見ルコト有リ

慢性咽頭炎

(四〇) 慢性咽頭炎 (Pharyngitis chronica).

咽頭ノ粘膜或ハ赤色ヲ呈シ或ハ蒼白色ヲ呈シ光澤有ルコト有リ又粘膜多クハ腫脹シ粘液ヲ被ムル又時トシテ粘膜

食道癌腫

(四一) 食道癌腫 (Carcinom des Oesophagus).

- (一) 患者羸瘦シ且惡液質ヲ呈ス
- (二) 氣管分岐部ニ發シタル者ニ在リテハ返廻神經ノ麻痺ヲ來スコト有リ
- (三) 食道消息子ヲ送入スルニ分岐部或ハ噴門部ニ狹窄有

リ其他ノ部位ニ發スルハ空ナリ該障碍ハ永久存スルモ腫瘍若シ破潰スルトキハ一時消息子ヲ通ジ得可キコト有リ

急性胃かた

(四二) 急性胃かた (Gastritis acuta).

- (一) 往々口唇旬行疹ヲ認ム
- (二) 熱候ヲ呈スルコト有リ
- (三) 著シキ舌苔有リ
- (四) 心窩部ニ壓痛有リ

(五) 通常嘔吐有リ吐物ハ食物殘片、粘膜、胆汁等ヨリ成ル胃液ノ成分ハ一定ナラズ鹽酸ノ含量一定セザルモベッしんハ多クハ減少ス

慢性胃かた

(四三) 慢性胃かた (Gastritis chronica).

- (一) 著シキ舌苔アリ
- (二) 心窩部ニ壓痛ヲ訴フ
- (三) 通常胃ハ尋常大ナルモ時トシテ擴張ヲ見ルコト有リ
- (四) 嘔吐アリ吐物ノ量ハ多キコト有リ、少キコトアリ、粘液及食物成分ヨリ成ル、鹽酸ハ減少乃至缺如シ或ハ増多ス又時トシテ消化時間外ニ之ヲ分泌スルコト有リ

(五) 大便ノ性状一定セズ

官能的消化

(四四) 官能的消化不良 (Functionelle Dyspepsie).

胃内容中ニハ遊離ノ鹽酸減少乃至缺如スルモ屢、乳酸ヲ

存ス然レドモ亦鹽酸ノ量増多スルコト有リ、粘液ハ缺如シ

應用診斷法

若クハ少量ナリ、鹽酸ノ分泌多キトキハ澱粉質ノ消化緩

慢ナリ

胃潰瘍

(四五) 胃潰瘍 (Ulcers ventriculi).

- (一) 皮膚多クハ蒼白色ヲ呈ス
- (二) 胃ノ限局部ヲ壓スルニ劇甚ノ疼痛アリ
- (三) 胃ノ下縁ハ癒著ノ爲、高位ニ在ルコト有リ潰瘍若シ幽門部ニ在ルトキハ屢、胃ノ擴張ヲ見ル
- (四) 往々血液ヲ吐出ス吐物ハ鮮紅色ナルコト有リ或ハ咖啡残渣様ニシテ褐色ナルコト有リ
- 化學的検査ヲ行フニ胃ノ内容中ニハ過剰ノ遊離鹽酸ヲ

- 含有スルコト甚ダ多ク爲、ニ澱粉ノ消化ハ障礙セラレ、吐血スルトキハ其中ニヘモぐろびんヲ含有ス顯微鏡的検査ヲ行フニ赤血球ヲ見ルコト有リ或ハ只血色素ヲ見ルコト有リ
- (五) 大便ニハ多クハ異常無キモ胃出血ニ在リテハ血液ヲ含有シ多クハ褐色乃至黑色ヲ呈ス
- (六) 胃痛發作ヲ來ス

胃癌

(四六) 胃癌 (Carcinoma ventriculi).

- (一) 患者多クハ惡液質ニシテ皮膚蒼白色ヲ呈シ腫瘍若シ膽管ヲ壓閉スルトキハ黄疸ヲ發ス
- (二) 間、黄疸ヲ見ル
- (三) 皮膚彈力ヲ失ヒ且乾燥ス
- (四) 漸次羸瘦ヲ來ス
- (五) 時トシテ左側ノ鎖骨上窩腫大ス
- (六) 脈小ニシテ虛ナルコト多シ
- (七) 血液ハ繼發的貧血ノ性狀ヲ呈ス

- (八) 常ニ舌苔有リ
- (九) 腫瘍ヲ目睹スルハ常ナラズ
- (一〇) 又之ヲ觸ルルコト必常ナラズ
- (一一) 腫瘍若シ隣接ノ臟器ト癒著ヲ生ズルトキハ胃ノ下界通常ヨリ高位ニ在ルコト有リ噴門癌ニ在リテハ胃ハ屢、狹縮スルモ之ニ反シテ幽門癌ニ在リテハ其擴張ヲ見ル又幽門癌ニ在リテハ其重力ノ爲、胃ノ下界屢轉位ス

腫瘍廣大ニシテ其部位宜シキニ適フトキハ打診スルニ濁音ヲ呈ス

テ來ル

- (三) 通常嘔吐有リ吐物ハ間、血液ヲ含有シ爲、ニ多クハ黑色ヲ帶ビ恰モ咖啡残渣ノ狀ヲ呈ス
- 化學的検査ヲ行フニ屢、遊離ノ鹽酸ヲ缺如シ胃液ハ蛋白質ヲ消化シ難シ凝乳酵素ハ缺如スルコト多シ、胃ノ運動力ハ減弱ス其他ノ異常ハ之ニ伴フ擴張症ニ由リ

- 顯微鏡的検査ヲ行フニ癌腫ノ細片ヲ認ム可キ者甚ダ罕ナリ、胃出血有ルトキハ血色素ヲ存シ罕ニ血球ヲ見ル又擴張症ニ於テハ微生物ヲ見ル可シ
- (三) 大便ハ(胃出血有ルトキハ)褐色乃至黑色ヲ呈シ血色素ヲ含有ス
- (四) 尿中ニいんぢかん並ニあちゑさんヲ有スルコト有リ

胃擴張

(四七) 胃擴張 (Gastroklasie).

- (一) 舌ニ厚苔有リ
- (二) 胃部膨隆シ間、其蠕動ヲ目睹ス可シ
- (三) 胃壁肥厚スルトキハ按壓スルニ抵抗多シ
- (四) 胃ノ下界ハ(炭酸若クハ空氣ヲ以テ膨大セシムルトキ)正中線ニ於テ臍下部ニ達シ上及右境界モ亦尋常ノ境界ヲ超過スルモ左方ハ少シ
- (五) 胃部ヲ觸打スルニ常ニ打水響ヲ聽ク

- (六) 嘔吐有リ吐物ハ多量ニシテ間、三層ニ分カル又醗酵產物有ルトキハ一種特異ノ臭氣有リ
- 化學的検査ヲ行フニ乳酸、酪酸、醋酸等ノ有機酸ヲ存ス鹽酸ハ存スルコト有リ或ハ減少スルコト有リ
- 吸收作用ハ緩慢ニシテ運動機能減弱ス
- 顯微鏡的検査ヲ行フニ多クハ釀母菌及胃菌ヲ見ル

急性腸かた

(四八) 急性腸かた (Enteritis acuta).

- (一) 腹部ヲ按壓スルニ其全部或ハ一定部(小腸或ハ横行結腸)ニ疼痛有リ

- (三) 胃ノ疾患ヲ合併スルトキハ(胃腸かた)水様、粘液様或ハ胆汁ヲ以テ染色セラレタル者ヲ吐出スルコト

器質諸病

應用診断法

有リ

(三) 便通ノ度數ハ増多シ多くハ稀粥狀ニシテ黃褐色ヲ呈シ屢酸性ノ反應ヲ呈ス

大便中ニハ多クハ許多ノ粘液有リ間片塊狀ヲ呈シ(急性)

(四九) 慢性腸かたゝる (Enteritis chronica).

(一) 壓痛ヲ存スルコト有リ或ハ之ヲ缺クコト有リ

(二) 嘔吐ヲ缺ク

(三) 大便ハ或ハ硬結シ或ハ下痢ス又大便ニハ粘液ヲ混ズルコト有リ或ハ硬固ナルトキハ其表面ニ粘液ヲ著クルコト有リ

大便中ニハ變化セザル膽色素其他あるぶみんヲ含有ス

(五〇) いれうす (Hens).

(一) 肚腹ハ鼓脹ニ因リテ強ク膨滿シ間腸蠕動機亢進ス

(二) 腹壁ヲ按撫スルニ往々管狀ノ抗抵ヲ觸レ(嵌頓)之ヲ壓スルニ甚ダ疼痛有ルコト有リ

(三) 鼓腸甚シキトキハ肝濁音部屢狹縮シ或ハ上方ニ轉ズルコト有リ其甚シキニ至レバ脾濁音部モ亦狹縮シ或ハ上方ニ轉位ス

性大腸かたゝる)又屢不消化ノ食物殘片ヲ見ル化學的ニハあるぶみん及不變ノ膽色素有リ、鏡檢スルニ腸上皮ノ増多スルヲ見ル

(四) 尿量減少シ比重増加シ屢濁濁ス

ルコト有リ鏡檢スルニ腸上皮粒ニ白血球ヲ見ル而シテ後者ハ殊ニ腸ノ結核症ニ多量ニ見ル所ニシテ又其中ニ結核桿菌ヲ存ス

(四) 結核性腸かたゝる及其他ノ腸かたゝる症ニ於テ尿中ノいんぢかん量ハ増多スルコト有リ

腹壁ヲ打診スルニ一定部ニ於テハ清音ヲ發シ鼓音ヲ發セザルコト有リ

(四) 嘔吐有リ吐物ハ帶褐黃色ニシテ糞臭ヲ放ツ

(五) 便通ハ缺クルコト有リ又下痢ヲ來シ間血便ヲ下ス

(六) 尿中ニ多量ノいんぢかんヲ含有シ又急ニ起テる硫酸増量ス

かたゝる性
黄疸

(五一) かたゝる性黄疸 (Icterus catarrhalis).

(一) 皮膚常ニ黃色ヲ呈ス

(二) 脈搏ハ通常緩徐ナリ

(三) 肝臟下縁ハ常位ヨリ低ク屢増大セル膽嚢ヲ觸レ且知覺過敏ナリ

(四) 大便ハ灰白色乃至白色ニシテ惡臭ヲ放チ化學的及顯

(五II) 鬱血肝 (Stauungsleber).

(一) 肝臟肥大シ其下縁ハ間常位ヨリ下方ニ於テ觸ル可ク硬固ニシテ壓スルモ敢テ疼痛ヲ訴ヘズ

(二) 上界ノ打診的境界ハ通常ヨリ高ク或ハ其下界低キコ

(五三) 急性黃色肝萎縮 (Acute gelbe Leberatrophie).

(一) 常ニ黃疸有リ

(二) 脈ハ一定セズ多クハ小ニシテ不整ナリ

(三) 肝臟ヲ壓スルニ劇痛有リ

(四) 肝臟著シク縮小シ就中其下界ハ上方ニ偏倚シ肝濁音ヲ發セザルニ至ル脾臟ハ肥大スルコト多シ

(五) 嘔吐有リ多クハ血液ヲ混ズ

器質諸病

微鏡的檢査ヲ行フニ甚ダ多量ノ脂肪ヲ含有ス

(五) 尿ハ多クハ少量ニシテ比重高ク黃褐色ニシテ多量ノうろびりん其他常ニ膽色素ヲ含有シ又屢膽酸ヲ含有ス鏡檢スルニ黃色ヲ帶ブル稀少ノ硝子樣圓塔ヲ見ル

ト有リ或ハ兩者共ニ來ルコト有リ

(三) 鬱血尿有リ又屢他ノ鬱血症狀ヲ呈ス

(六) 便中亦血液ヲ混ジ爲ニ漆黑色ヲ呈ス

(七) 尿量少ナク尿素ノ量著シク減少ス又其中ニ膽色素、膽酸ヲ存シ間蛋白粒ニ殆ド常ニろいちん及ちろじんヲ含有ス

(八) 末期ニ至レバ著シキ意識障礙ヲ來シ讒語ヲ發シ屢、痙攣ヲ起シ遂ニ昏睡ニ陥ル

肝臟腫瘍

(五四) 肝臟膿瘍 (Leberabszess).

- (一) 屢、黃疸アリ
- (二) 屢、熱有レドモ定型ナシ
- (三) 肝下縁ハ間、常位ヨリ低ク時トシテ隆起ヲ生ジ波動

ヲ呈スルコト有リ之ヲ壓スルニ疼痛ヲ訴フ
(四) 肝臟ハ屢、増大ス

肝臟硬變症

(五五) 肝臟硬變症 (Lebercirrhose).

- (一) 黃疸ハ肝臟肥大ノ際ハ常ニ存スルモ萎縮スルトキハ缺如スルコト多シ然レドモ後者ニ於テハ惡液質ノ狀ヲ呈ス
- (二) 病勢進ムトキハ羸瘦スルコト多シ
- (三) 屢、浮腫有リ
- (四) 腹壁ノ靜脈怒張スルコト多シ
- (五) 肝臟肥大セル際竝ニ其萎縮ノ始、ニ於テハ間、其下縁ハ常位ヨリ低所ニ於テ觸ル可ク甚ダ硬固ニシテ往々其表面ニ小隆起有ルヲ觸ル而シテ之ヲ壓スルニ多少疼痛有リ

或ハ兩者合併ス而シテ比較的濁音部ハ多クハ著シク増大ス

第二期ニ至リ既ニ萎縮ヲ起ストキハ縮小シ其下界高ク且比較的濁音部狭小ト爲ル

(八) 萎縮期ニ於テハ其後期ニ至レバ必ズ腹水ヲ發スルモ肥大セルトキハ之ヲ缺如スルコト多シ

(九) 萎縮期ニ於テハ往々吐血ヲ嗜ル

(一〇) 大便ハ肥大期ニ於テハ屢、脱色スレドモ萎縮期ニ於テハ間、血液ヲ含有スルコト有リ

(一一) 尿量ハ肥大ノ際多クハ増加シ許多ノ膽色素ヲ有ス然レドモ萎縮スルトキハ多クハ減少シ許多ノ尿酸鹽類竝ニ、うろびりんヲ含有シ毫モ膽色素ヲ含有セズ之、有ルモ少量ナリ

脂肪肝

(五六) 脂肪肝 (Fettleber).

- (一) 肝ノ下縁ハ尋常ヨリ低ク抵抗亦尋常ヨリ強ク壓痛無シ
- (二) 上界ハ尋常ヨリ高ク或ハ下界ハ尋常ヨリ低ク或ハ兩

者合併シ比較的濁音部ハ或ハ尋常ナルカ或ハ増大ス

(三) 脾腫ヲ見ズ

肝臟澱粉樣變性

(五七) 肝臟澱粉樣變性 (Amyloid der Leber).

- (一) 肝ノ下縁ハ尋常ヨリ低ク甚ダ硬固ニシテ敢テ壓痛ヲ訴ヘズ
- (二) 肝ノ上界ハ或ハ尋常ヨリ高ク比較的濁音部移轉シ且増大ス或ハ肝ノ下界尋常ヨリ低ク比較的濁音部尋常大

ナルカ或ハ増大シ或ハ兩者合併ス

(三) 之ト同時ニ脾胃兩臟ニ澱粉樣變性アルヲ認ムルコト多シ

肝臟癌腫

(五八) 肝臟癌腫 (Karzinom der Leber).

- (一) 患者惡液質ノ狀ヲ呈シ屢、黃疸アリ
- (二) 皮膚彈力ヲ失ヒ且乾燥ス
- (三) 殆ド常ニ羸瘦ス
- (四) 右鎖骨上窩隙間、腫大ス
- (五) 脈多クハ小ニシテ虛ナリ
- (六) 血液中ニハ繼發性貧血ノ狀明ナリ
- (七) 罕ニハ腫瘍ヲ目睹シ得可ク其纒々結節狀ヲ呈スル者

ハ屢、觸知シ得可ク之ヲ壓スルニ疼痛有リ

(八) 幽門壓迫セララルトキハ爲、ニ胃擴張症ヲ起サシム

(九) 肝臟増大スルヲ以テ其上下兩縁常界ヲ越エ比較的濁音部尋常大ナルカ或ハ増大ス

(一〇) 脾ハ通常肥大セズ

(一一) 屢、腹水有リ

(一二) 黃疸有ルトキハ尿中ニ膽色素ヲ有シ又間、あち急ミ

應用診斷法

んヲ含有ス

肝臟包蟲囊腫

(五九) 肝臟包蟲囊腫 (Echinococcus der Leber).

- (一) 間、黃疸アリ
- (二) 時トシテハ肝臟ノ局部ニ波動ヲ呈スル隆起ヲ觸ル
- (三) 肝臟增大スルヲ以テ其下界或ハ上界或ハ該兩界著シク移轉シ比較的濁音部尋常大ナルカ或ハ増大ス
- (四) 穿刺スルニ通常透明ノ清澄液アリ比重一〇〇六乃至

一〇一五ニシテ其中ニ殆ド全ク蛋白ヲ缺如スルモ多量ノコロームナリ。其其他膿、琥珀酸ヲ含有シ其中ニ鈎若クハ蟲頭ヲ見ル若シ化膿スルトキハ内容帯緑黄色ト爲リ若シ又出血有ルトキハ褐色ヲ呈シ其中ニへまごいちん結晶ヲ見ル

遊走肝

(六〇) 遊走肝 (Wanderleber).

- (一) 肝ノ下縁ハ諸處ニ在リ容易ニ之ヲ移動シ得可シ
- (二) 肝濁音部ハ其居所ニ由リ一定セズ時トシテハ消失ス

ルコト有リ

膽石病

(六一) 膽石病 (Cholelithiasis).

- (一) 結石若シ輸膽管ヲ閉塞スルトキハ皮膚黃疸色ヲ呈ス
- (二) 此場合ニ於テハ肝臟腫大シ又間、膽囊ヲ觸ル可ク試ニ之ヲ壓スルニ刺痛ヲ發スルコト多シ

(三) 黃疸ヲ發スルトキハ大便脱色シ發作ノ後其中ニ膽石ヲ見ルコト有リ

爾他膽囊ノ疾患

(六二) 爾他膽囊ノ疾患 (膽囊炎 Cholecystitis, 水腫 Hydrops, 癌腫 Carcinom).

鬱血脾

(六三) 鬱血脾 (Stausmilz).

- (一) 脾臟肥大シ屢、容易ニ手觸シ得可ク硬固ニシテ壓痛無シ

(二) 脾濁音部ハ主トシテ前下方ニ向テ増大ス

増大シタル膽囊ハ時トシテ肝臟下ニ突隆スル球狀ノ腫瘍トシテ觸診スルヲ得可ク之ヲ按壓スルニ疼痛有リ且甚ダ

硬固ナルヲ覺ユ

脾臟澱粉樣變性

(六四) 脾臟澱粉樣變性 (Amyloid der Milz).

- (一) 脾腫甚シキトキハ左側胸廓ノ下口擴張スルコト有リ
- (二) 脾臟境界部上ニ於ケル打響ハ減弱シ或ハ鼓音ヲ發ス
- (三) 脾臟境界部上ノ呼吸音ハ銳利ト爲ルコト有リ

(四) 脾臟ハ手觸シ得可ク硬固ニシテ多クハ壓痛無シ
(五) 脾濁音部増大シ其圓形ハ概テ尋常ナリ

脾臟腫瘍

(六五) 脾臟腫瘍 (Tumoren der Milz).

- (一) 脾ハ屢、肥大シテ手觸シ得可ク間、其表面ニ隆起アリ
- 壓スルニ疼痛ヲ訴フ

(二) 脾ノ前下兩界ハ増大ノ爲ニ下方ニ偏ス
(三) 腫瘍ノ何物タルヤハ多クハ試穿法ニ由リテ知ル可シ

遊走脾

(六六) 遊走脾 (Wandermilz).

- (一) 脾ハ屢、觸ル可キモ肥大セズ且甚ダ移動シ易シ
- (二) 脾濁音部ハ單ニ轉位スルコト有リ或ハ全ク缺如スル

コト有リ而シテ後者ノ場合ニ於テハ屢、腹腔ノ他部ニ濁音ヲ認ムルコト有リ

器質諸病

急性出血性
脾臟炎—急性
脾臟壞疽

(六七) 急性出血性脾臟炎—急性脾臟壞疽 (Akute hämorrhagische Pankreatitis-akute Pankreasnekrose).

(一) 卒然上腹部ニ疼痛ヲ發シ氣脹、嘔吐ヲ來シ其狀最急性ノ腹膜炎ニ似タリ

(二) 屢、虛脱ニ陥ルコト有リ
(三) 患者ハ中年ノ者ニシテ肥滿スル者ニ來ルコト多シ

慢性脾臟炎

(六八) 慢性脾臟炎 (Chronische Pankreatitis).

(一) 顯著ナル症狀ヲ呈スルコト無シ
(二) 著明ナル症ニ於テハ糖尿ヲ來ス

(三) 外分泌ノ缺如セル際ニハ脾臟消化ノ不全ナル徵(あつ)をころゑ及すてあころゑ)ヲ呈ス

脾臟癌腫

(六九) 脾臟癌腫 (Karzinom des Pankreas).

(一) 一般營養障礙アリ
(二) 脾頭ノ癌腫(之ヲ最多トス)ニ在リテハ上腹部ニ腫瘤ヲ呈ス

(三) 多クハ劇痛アリ
(四) 輸膽管ヲ壓迫シ黃疸ヲ發スルコト多シ

脾臟囊腫

(七〇) 脾臟囊腫 (Pankreaszyste).

(一) 時々痙攣發作アリ
(二) 脂肪便及便中不消化ノ筋纖維ヲ見ルコト有リ
(三) 尿中ニハ屢、糖ヲ現出ス

(四) 上腹部ニ波動ヲ呈スル腫瘤ヲ生ズ
(五) 穿刺液中ニコリぶしんヲ見ルコト有リ或ハ否ラザルコト有リ

脾石症

(七一) 脾石症 (Sialolithiasis).

(一) 通常特異ナル症候ヲ呈スルコト無シ

(二) 只間、疼痛(脾石痛)ヲ發スルコト有ルノミ

盲腸周圍炎
及盲腸周圍
結締織炎

(七二) 盲腸周圍炎及盲腸周圍結締織炎 (Periana Paratyphitis).

(一) 熱ニ定型無シ
(二) 回盲部ニ於テ往々局所的隆起ヲ見ル

(三) 該部ニ於テハ屢、壓痛ヲ感ズル抵抗或ハ浸潤ヲ觸ル
(四) 回盲部ニ於テハ濁音ヲ呈スルコト有リ

腹膜炎

(七三) 腹膜炎 (Peritonitis).

(一) 熱ハ急性症ニ於テハ殆ド常ニ存シ慢性症ニ於テハ屢、存シ或ハ又之ヲ缺クコト有リ
(二) 胸廓下口ハ兩側共ニ擴張スルコト多ク呼吸式ハ屢、專ラ肋式ニシテ(男子ニ於テモ然リ)又屢、呼吸困難アリ
(三) 隣接セル肺ノ下部ハ或ハ異常ノ低音ヲ發シ或ハ半濁鼓音ヲ發ス是之ニ併發セル鼓脹ノ爲、ニ脾臟壓迫ヲ受クルニ因ル又之ト同時ニ肺ノ下界ハ上方ニ偏倚シ深吸氣ノ際トイヘドモ下方ニ移動スルコト甚ダ少ク或ハ全く之レ無シ
(四) 上方肺部ノ呼吸音ハ銳利ノ肺胞音ヲ呈ス
(五) 心跳ハ上方或ハ間、又左方ニ壓抵セララル

應用診斷法

其部位ヲ變ズ

- (一) 罕ニ摩擦音ヲ聽クコト有リ
- (二) 初患ノ際及又其經過中ニ屢嘔吐有リ又吃逆ヲ來ス
- (三) 試穿法ヲ行フニ滲出物漿液性ナルトキハ清澄透明或ハ黃色ニシテ暫時ニシテ凝固スル液ヲ漏ス其比重一〇一二以上ニシテ蛋白、少許ノ食鹽ヲ含有シ鏡檢スルニ僅少ノ有形分ヲ見ル
- 滲出物若シ膿性ナルトキハ液體不透明、濃稠ニシテ灰白黃色乃至綠樣色ヲ呈シ許多ノ膿球ヲ存ス

腹水

(七四) 腹水 (Ascite).

- (一) 胸廓下部ハ左右共ニ開大シ屢、單ニ肋式呼吸ヲ營ム
- (二) 隣接セル肺下部ハ壓迫ノ多少ニ由リテ低音若クハ半濁鼓音ヲ呈シ且肺境界ハ屢、上方ニ移リ深呼吸時トイヘドモ下降セズ
- (三) 肺上ニ聽ク所ノ肺胞音ハ間、屢、粗糲ト爲ル
- (四) 心跳ハ左上方ニ轉位スルコト有リ
- (五) 心濁音部上方ニ移轉ス
- (六) 肚腹ハ多少膨滿シ下垂部ニ於テ最モ著シキモ最高部ハ屢、扁平ヲ爲シ臍ハ膨隆スルコト有リ
- (七) 肚腹ニ疼痛ヲ訴ヘズ

滲出物若シ出血性ナルトキハ赤色乃至褐色ヲ呈シ血色素及赤血球ヲ含有ス

- 滲出物若シ變敗スルトキハ稀薄液ニシテ綠褐色ヲ呈シ甚ダ惡臭有リ脂變セル白血球、脂肪、これすてありん等ノ結晶ヲ存ス
- 疾患或ル寄生物ニ起因スルトキハ液體中ニ病原的ノ分裂菌ヲ見ル可シ
- (五) 尿中ニハ屢、いんぢかんヲ證明シ又ころゝるなごりうむノ減少ヲ認ム

- (八) 肝濁音部屢、縮小シ或ハ上方ニ轉位ス
- (九) 脾濁音部モ亦縮小シ或ハ上方ニ轉位ス
- (一〇) 腹壁ヲ打診スルニ濁音ヲ呈スルモ體位ニ由リ其部位ヲ變ズ即チ坐位ニ在リテハ其境界水平線ヲ呈シ其下部ニ於テ濁音ヲ發スレドモ仰臥スルトキハ下部及腹壁側部ニ於テ最強ノ濁音ヲ發スルモ最高部ニ於テハ鼓音ヲ發スルコト有リ
- (二) 穿刺液ハ清澄透明ニシテ罕ニ僅ニ凝固スル黃色ヲ帶ブルモ出血性ノ者ニ在リテハ赤色ヲ帶ブ其比重一〇一八以下ニシテ、蛋白、少許ノころゝるなごり、む及僅

少ノ有形成分ヲ有シ唯出血性ノ者ニ在リテハ許多ノ赤血球ヲ有ス

- (三) 尿ハ多クハ少量ニシテ液體滲漏ノ際ハころゝるなごり

鼓脹

(七五) 鼓脹 (Tympanites).

- (一) 皮膚屢、發汗アリ
- (二) 胸廓下部ハ左右共ニ擴張シ呼吸ハ通常肋式ニシテ男子ニ於ケルモ亦然リ
- (三) 肺ノ下部ハ低音若クハ半濁鼓音ヲ發シ肺境界上方ニ偏シ其擴張力減少乃至消失ス
- (四) 肺胞呼吸音ハ屢、銳利ト爲ル
- (五) 心跳ハ上方ニ壓抵セラル
- (六) 心濁音部モ亦然リ

り、むノ量ヲ減ズレドモ滲漏液吸收セララルトキハ尿及ころゝるなごり、むノ量共ニ増加ス

- (七) 肚腹ハ平等ニ膨大ス
- (八) 觸診スルニ劇痛アリ腹壁強ク緊張ス
- (九) 肝脾兩濁音部ハ多クハ全ク消失ス腹壁ノ緊張甚シキトキハ清音及非鼓音ヲ發スルモ緊張中等ナルトキハ鼓音ニシテ鐘響ヲ帶ブ同時ニ液體ヲ存スルトキハ打響常ニ鐘響性ニシテ坐スルトキハ下部、臥ストキハ下部及側腹壁ニ濁音ヲ發シ振盪スルニ鐘響音打水響ヲ認ム

泌尿器系諸病

鬱血腎

(丁) 泌尿器系諸病

(七六) 鬱血腎 (Stauungsniere).

- (一) 鬱血肝有リ罕ニハ鬱血脾、腹水及他ノ水腫有リ
- (二) 尿量減少シ比重高ク反應酸性ニシテ黯褐色ヲ呈シ多クハ少許ノ蛋白ヲ含有シ沈渣多クハ少量ニシテ僅少ノ

器質諸病

赤白兩血球、稀少ノ硝子樣圓塔及上皮ヲ有シ罕ニハ顆粒狀圓塔其他屢、尿酸鹽或ハ尿酸ヲ含有ス

急性腎臟炎

(七七) 急性腎臟炎 (Acute Nephritis).

- (一) 常ニ多少ノ水腫有リ
- (二) 屢、熱候ヲ呈スルモ高キコト少シ
- (三) 左室擴張スルコト有リ
- (四) 脈多クハ緊張ス。
- (五) 腎臟部ニ壓痛有リ

慢性瀰漫性腎臟炎

(七八) 慢性瀰漫性腎臟炎 (Chronische diffuse Nephritis).

- (一) 水腫アリ常存セザルモ後期ニ至レバ顯著ト爲リ早ク體腔ヲ侵ス
- (二) 腎臟部ヲ壓スルニ間、疼痛アリ
- (三) 尿量ハ一定セズ多クハ減量スルモ罕ニハ多量ナルコト有リ比重ハ尋常或ハ高ク反應酸性ニシテ多クハ濁濁

慢性間質性腎臟炎

(七九) 慢性間質性腎臟炎 (Chronische interstielle Nephritis).

- (一) 皮膚屢、蒼白色ヲ呈ス
- (二) 皮膚乾燥ス
- (三) 多クハ水腫ヲ存スルコト無ク之レ有ルモ僅少ナリ
- (四) 心跳ハ左室肥大ニ因リテ稍、下方ニ偏シ強盛ス(常ニ顯著ナルニ非ズ)

(八) 尿量減少シ比重高ク反應酸性ニシテ黯褐色ヲ呈シ濁濁ス、常ニ蛋白ヲ有シ屢、其量多ク又常ニ多少ノ血色素ヲ含有ス之ヲ放置スルニ許多ノ沈渣ヲ生ジ其中ニハ赤白兩血球、腎臟上皮、血液圓球、硝子樣圓球ヲ有シ、後ニハ又顆粒狀圓球ヲ見ル

ス、尿素及磷酸減少スルモ常ニ多量ノ蛋白ヲ含有ス、沈渣ハ多量ニシテ多クハ稀少ノ赤血球、許多ノ白血球、數多ノ屢、脂變セル上皮粒ニ通常數多ノ硝子樣圓球及顆粒狀圓球ニ間、蠟樣圓球ヲ有ス

(四) 網膜ニ出血ヲ來シ又蛋白性網膜炎ヲ來スコト有リ

(五) 心濁音部屢、増大ス

(六) 心音屢、強盛シ殊ニ第一大動脈音ニ於テ然リ

(七) 此際亦頸動脈搏動ヲ見ル

(八) 脈強ク緊張シ爲、ニ彈性性隆起ヲ増シ逆衝隆起ヲ減ズ

腎臟澱粉樣變性

(八〇) 腎臟澱粉樣變性 (Amyloid der Niere).

- (九) 尿量ハ通常著シク増加シ比重高ク反應酸性ニシテ色淡白且澄明ナリ、尿素ハ屢、減少シ蛋白ハ多クハ少量ニ
- (一) 皮膚水腫ハ屢、缺如ス之レ有ルトキハ多クハ腎臟炎ヲ合併スルニ因ル
- (二) 尿ノ量及比重ハ一定セズ多クハ清澄ニシテ酸性ノ反

シテ時トシテハ缺如スルコト有リ。鏡檢スルニ只稀少ノ有機性沈渣其他硝子樣圓球或ハ分解セル上皮ヲ見ル

應ヲ微シ蛋白ヲ存スルコト有リ或ハ缺如スルコト有リ鏡檢スルニ甲ノ場合ニ於テハ脂變セル上皮及諸般ノ圓球ヲ存シ間、亦蠟樣圓球ヲ見ル

遊走腎

(八一) 遊走腎 (Wanderiere).

- (一) 腹内ニ於テ間、蠶豆形ノ腫瘤ヲ觸レ仰臥スルトキハ容易ニ復位セシムルコトヲ得キモ直立スルトキハ再ビ現出ス之ヲ打診スルニ濁音ヲ發ス

(八二) 腎臟水腫 (Hydronephrose).

- (一) 囊腫巨大ナルトキハ腹部ノ患側ニ當リ腫瘤ヲ視觸シ得可ク打診スルニ濁音ヲ呈ス
- (二) 穿刺液ハ清澄透明ニシテ一〇〇八乃至一〇二〇ノ比

(二) 間、腎發音部ニ於テ清鼓音ヲ呈スルモ整復スルトキハ再ビ濁音ヲ發ス

(三) 屢、發作性ニ蛋白尿ヲ來スコト有リ

重ヲ有シ蛋白ハ屢、缺如シ食鹽ハ少量ナルモ屢、尿素及尿酸ヲ認ム、鏡檢スルニ時トシテ稀少ノ腎上皮ヲ見ル

腎盂炎

(八三) 腎盂炎 (Pyelitis).

- (一) 熱候ヲ呈スルコト有リ或ハ缺如スルコトアリ

(二) 屢、腎臟部ニ壓痛有リ結石性腎盂炎ニ於テハ時々疼

應用診斷法

五九二

痛發作ヲ來ス腎石痛

(三)尿ハ疾患ノ原因ニ從ヒ其性狀ヲ異ニス
疾患若シ結石ニ因ルトキハ尿ハ一時尋常ナルモ發作ノ際赤色ヲ帶ビ血液、蛋白及粘液素ヲ含有シ鏡檢スルニ

許多ノ赤白兩球其他屢、結石ノ細小片ヲ見ル
化膿性腎盂炎ニ在リテハ尿中ニ蛋白ヲ存シ許多ノ膿球並ニ間、腎盂ノ上皮ヲ有シ結核症ノ者ニ在リテハ屢、結核桿菌ヲ證明ス可シ

急性膀胱炎

(八四) 急性膀胱炎 (Akute Cystitis)

(一)往々熱候有リ
(二)膀胱部ニ疼痛ヲ覺エ之ヲ壓スルニ知覺過敏ナリ
(三)尿量ハ尋常ニシテ放尿ノ際疼痛ヲ起シ屢、淋瀝シ尿意窘迫ス

(四)尿色ハ屢、血液狀ニシテ反應ハ酸性或ハあるかりヲ呈シ濁濁ス
(五)常ニ蛋白及血色素有リ鏡檢スルニ許多ノ赤血球、少許ノ膿球並ニ膀胱上皮及分裂菌ヲ見ル

慢性膀胱炎

(八五) 慢性膀胱炎 (Chronische Cystitis)

(一)尿量ハ尋常ニシテ常ニ濁濁シ屢、あるかり性反應ヲ呈ス
(二)尿中常ニ蛋白及粘液素ヲ有シ多量ノ沈渣ヲ生ジあるかり性ノ者ニ在リテハ直ニ膿狀物ヲ凝固ス又其中ニ粘液、許多ノ屢、脂變セル膿球、類敗物、僅少ノ赤血球及膀胱上皮其他磷酸鹽類、尿酸あむもに、結晶並ニ許多

ノ分裂菌ヲ含有ス
其原因結核症ニ在ルトキハ沈渣中ニ在ル所ノ乾酪性片塊中ニ結核桿菌ヲ存シ痲疾ニ在ルトキハ屢、痲毒球菌ヲ發見ス可シ
膀胱結石ヲ存スルトキハ屢、血尿ヲ來ス

膀胱癌腫

(八六) 膀胱癌腫 (Karzinom der Blase)

(一)尿中屢、血液ヲ含有シ時トシテハ純血ヨル成ル而シテ血液ハ尿ト親和セズシテ器底ニ沈降ス

(二)尿中ニ蛋白及血色素ヲ有シ鏡檢スルニ許多ノ赤白兩血球並ニ罕ニ腫瘍ノ小片ヲ見ル

生殖器系諸病

(戊) 生殖器系諸病

(八七) 痲疾 (Gonorrhoe)

(一)鼠蹊腺ハ間、腫脹ス
(二)急性傳染(其潜伏期ハ二日乃至五日ナリ)ニ在リテハ始、尿道ヨリ些少ノ粘液狀物ヲ漏シ次第ニ許多ノ膿液ヲ漏ス(女子ニ在リテハ又腔ヨリス)該分泌物ハ尿道上皮(若クハ腫上皮)及其ダ多量ノ膿細胞ヨリ成リ其中ニ痲毒球菌ヲ存ス
慢性症ニ在リテハ分泌物稀少ニシテ粘液狀ヲ呈シ其中

ニ亦屢、痲毒球菌ヲ發見スルコト有リ
尿道ノ分泌物ハ通常尿中ニ混入スルヲ以テ尿ハ爲、ニ濁濁シ上記ノ有形成分ヲ含有スルコト有リ此他尿中ニハ又蛋白、粘液、痲疾絲、尿道腺ノ上皮等ヲ有ス
屢、尖圭肝腫アリ男子ニ在リテハ屢、膀胱炎、精系炎及副睪丸炎ヲ起サシメ女子ニ在リテハ膀胱炎及バルトリン氏腺炎ヲ起サシム

原發性微毒

(八八) 原發性微毒 (Primäre Syphilis)

二乃至三週間ノ潜伏期ヲ經テ龜頭若クハ外陰部ニ限局性ノ硬結ヲ生ジ其表面糜爛シテ扁平ノ潰瘍ヲ生ジ周圍及底

面共ニ硬キコト恰モ軟骨ノ如シ
鏡檢上硬結組織ニすびろへーテ、ばるりだヲ證明ス可シ

卵巢腫瘍

(八九) 卵巢腫瘍 (Ovarialtumoren)

(一)胸廓下部多クハ平等ニ擴張ス
器質諸病

(二)横隔膜ノ位置高キトキハ肺ノ下部ハ或ハ異常ニ低且

- 明ノ打響ヲ發シ或ハ半濁鼓音ヲ發シ同時ニ肺ノ下界ハ上方ニ移リ深吸氣時トイヘドモ下降スルコト少シ
- (三) 心跳左上方ニ偏在シ心濁音部ハ上方ニ轉移ス
- (四) 肚腹ハ多少平等ニ擴張セラレ
- (五) 波動ヲ感ズルコト有ルモ多ク只一局部ニ限畫ス
- (六) 肝濁音部ハ狹縮シ或ハ上方ニ轉位ス
- (七) 脾濁音部モ亦狹縮シ或ハ上方ニ轉位ス

妊娠

(九〇) 妊娠 (Graviditas).

- (一) 屢、黃斑有リ
- (二) 妊娠數月ヲ累テ分晩期ニ近クトキハ胸廓ノ下部左右共ニ開張ス
- (三) 橫隔膜高位ヲ占ムルノ症狀ヲ呈スルコト有リ
- (四) 心跳及心濁音部共ニ上方ニ轉移ス
- (五) 往々下肢靜脈ノ努張スルヲ略ル
- (六) 肚腹ハ妊娠ノ期ニ從ヒ多少膨滿シ臍隆起ス

- (八) 腫瘍上ニハ濁音ヲ發シ其境界一定セズ
- (九) 穿刺液ハ潤濁シ粘稠ニシテ縷ヲ牽キ罕ニ凝固ス、膿腫若シ化膿スルトキハ帶綠黃色ヲ呈シ若シ出血有ルトキハ褐色ヲ呈ス比量ハ一〇〇ニ乃至一〇五五ニシテ該液中ニハ蛋白、粘液及少許ノ食鹽ヲ含有シ又其中ニハ上皮(扁平上皮、圓柱上皮或ハ毳毛上皮)ヲ存シ化膿スルトキハこれすてありん結晶ヲ存ズ

(七) 肝濁音部ハ狹縮シ或ハ又上方ニ轉移ス

(八) 脾濁音部屢、狹縮シ或ハ上方ニ轉移ス

(九) 增大セル子宮上ニハ濁音ヲ發シ體位ニ由リテ打響ノ部位ヲ變ズルコト少シ

(一〇) 肚腹上ニハ子宮雜音及小兒ノ心音ヲ聽ク

(一一) 腔ノ粘膜ハ黯赤色ヲ呈ス

(一二) 乳腺ヨリ(第一乃至三ヶ月ヨリ)初乳ヲ搾出シ得可シ

神經系統諸病

(己) 神經系統諸病

腦卒中

(九一) 腦卒中 (Apoplexia cerebri).

- (一) 往々呼吸困難アリ呼吸ハ屢、不整ニシテ又シャイン・ストックス氏ノ呼吸現象ヲ略ルコト有リ
- (二) 脈ハ異常ニ緩徐ナルコト有リ或ハ頻數ナルコト有リ又一時強ク緊張スルコト有リ
- (三) 發作後ニハ尿中ニ糖分ヲ含有スルコト有リ
- (四) 偏側ノ知覺麻痺ハ只内囊後脚ノ後部ニ疾患アル際ニノミ來ル
- (五) 此場合ニ於テハ間、又偏側ノ視器ニ機能障礙ヲ來スコト有リ
- (六) 發作ノ直後ニ偏側ノ運動麻痺ヲ來スモ顔面神經ハ只一部侵サル是レ前額及眼筋ヲ主宰スル所ノ神經枝ニ障礙無クレバナリ然レドモ舌ハ半側麻痺スルヲ以テ發語不能ヲ來スコト有リ

(九二) 腦腫瘍 (Gehirntumoren).

- (一) 往々呼吸困難アリシャイン・ストックス氏ノ呼吸現象ヲ呈ス
- (二) 脈搏ハ或ハ緩徐或ハ頻數ナリ
- (三) 殆ド常ニ劇頭痛有リ
- (四) 精神及意識ノ障礙ヲ來スコト有リ
- (五) 腫瘍發生ノ部ニ由リテ皮質性麻痺ヲ來スコトアリ又器質諸病

(七) 後ニ至リ麻痺筋殊ニ屈筋ニ緊縮ヲ來シ間、痙攣或ハ半舞蹈病ヲ起スコト有リ

(八) 反射機ハ或ハ消失シ或ハ(殊ニ膝反射)亢進シ瞳孔ハ始、狹縮スレドモ後ニハ散大ス

(九) 電氣的興奮性ハ始、ハ一時亢進スルモ後チニ至レバ屢、稍、減退シ或ハ絶エズ保存ス

(一〇) 時日ヲ經過スルトキハ麻痺筋ニ單純ノ廢用萎縮ヲ來ス

(一一) 麻痺セル肢部ハ始、多クハ冷却シ蒼白色ヲ呈スルモ後期ニ至レバ却テ赤色ヲ呈シ且ちあのーゼヲ呈スルコト有リ

(一二) 卒中發作ニ於テハ昏睡ヲ來スコト多シ

(一三) 屢、眩暈有リ歩行蹣跚、罕ニハ眞ノ共同機障礙ヲ來シ又間、搐搦或ハ癲癇様痙攣ヲ發ス

(一四) 反射機ハ減退スルコト有リ

(一五) 患筋ニ於ケル電氣的興奮性ハ始、ハ亢進スルモ後ニ至レバ減退ス然レドモ變性反應ヲ來スコト絶ダ罕ナリ

(一六) 黒内障ヲ來スコト有リ時トシテ半視症ヲ來シ又屢、

應用診斷法

鬱血乳頭ヲ來ス

(九) 腫瘍發生ノ部位ニ由リテハ亦聽力減少及自覺的聽覺

ヲ來スコト有リ

小兒腦水腫

(九三) 小兒腦水腫 (Hydrocephalus infantilis).

(一) 頭蓋ハ異常ニ大ニシテ顱門甚ダ開大シク閉鎖セズ

(三) 痲痺ヲ來スコト有リ又之ニ筋ノ緊縮ヲ兼ルコト有リ

(二) 屢、精神的障礙ヲ見ル

(四) 痲痺樣痲痺或ハ筋攣縮ヲ來スコト有リ

急性小兒腦痲痺

(九四) 急性小兒腦痲痺 (Acute cerebrale Kinderlähmung).

(一) 初期ニハ熱候アリ

間、半舞蹈病狀運動ヲ呈ス

(二) 知覺機ニ異常無シ

(四) 反射機ハ尋常或ハ亢進ス

(三) 初期ニ屢、半側性ノ痲痺樣痲痺ヲ發シ後ニハ四肢、平ニハ顔面ノ半身不遂ヲ來シ痲痺筋ハ萎縮シ緊縮ヲ起シ

(五) 電氣運動的興奮性ハ保存セララル

腦膜炎

(九五) 腦膜炎 (Meningitis cerebri).

(一) 屢、呼吸困難アリ又シャイン・ストックス氏ノ呼吸現象ヲ呈ス

(四) 頭ヲ打鼓スルニ屢、疼痛有リ頸椎ノ最上部ヲ壓スルモ亦疼痛有リ頭ハ後屈位ニ在ルコト多シ

(二) 脈搏ハ初期ニ於テハ多クハ異常ニ緩徐ニシテ且間、強ク緊張スレドモ後ニ至レバ甚ダ頻數ト爲ル

(五) 劇甚ノ頭痛有リ

(三) 肚腹、多クハ陷沒ス

(六) 後期ニ至レバ意識障礙ヲ來ス

(七) 經過中顔面及軀幹ノ諸筋ニ痲痺ヲ來ス

(八) 反射機ハ減少ス

縮小スルモ後ニハ散大ス

(九) 視覺及聽覺共ニ減弱シ又鬱血乳頭ヲ認ム、瞳孔ハ始、

癲癇

(九六) 癲癇 (Epilepsie).

(一) 舌ニ瘰癧或ハ咬傷ヲ見ルコト有リ

ル

(二) 發作後ニハ尿中ニ糖分ヲ見ルコト有リ

(四) 瞳孔ハ多クハ著シク散大シ光線ニ向テ反應セズ反射ハ消失ス

(三) 發作ヲ來スヤ多クハ叫喚シ人事不省ト爲リ先、少時間全身ノ強直性痲痺ヲ發シ次テ諸筋ノ間、代性痲痺ニ移

舞蹈病

(九七) 舞蹈病 (Chorea).

(一) 知覺機ニ異常ナシ

然レドモ睡眠時ニハ鎮靜ス

(二) 患者不隨意的ニシテ秩序無キ運動ヲ營ミ其運動持續セズ或ハ此所或ハ彼所ノ筋ニ來リ殆、ト全諸筋ニ涉ル

(三) 精神沈鬱シ減動シ易ク且記憶力減退ス

(三) 震顛運動アリ或ハ只一二ノ肢ヲ侵シ或ハ全身ノ筋ヲ侵シ運動ヲ企ツルニ際シテ震顛ヲ増スコト無ク患者自ラ一時其運動ヲ停止スルコトヲ得可ク睡眠時ニ於テハ或ハ休止シ或ハ微弱ト爲ル

(四) 電氣的興奮性ハ尋常ニシテ罕ニハ亢進スルヲ睹ル

震顛痲痺

(九八) 震顛痲痺 (Paralysis agitans).

(一) 知覺機ニ異常ナシ

(三) 身體ノ諸筋ニ痲痺アリ筋ノ痲痺ハ甚シカラズ而シテ其痲痺ノ爲、患者一種ノ體位ヲ保ツ即チ身體ヲ前方ニ屈シ手指ハ執筆スル狀ヲ呈シ或ハ捻揉スルガ如キ觀ヲ呈シテ屈曲ス

(二) 震顛運動アリ或ハ只一二ノ肢ヲ侵シ或ハ全身ノ筋ヲ侵シ運動ヲ企ツルニ際シテ震顛ヲ増スコト無ク患者自ラ一時其運動ヲ停止スルコトヲ得可ク睡眠時ニ於テハ或ハ休止シ或ハ微弱ト爲ル

(四) 反射機ニ異常ナシ

器質諸病

應用診斷法

(五) 電氣的興奮性亦異常ナシ

多發性電硬化

(九九) 多發性電硬化 (Multiple Heredose)

- (一) 知覺機ニ多クハ異常無シ
- (二) 罕ニハ共同機障有リ
- (三) 企動的震顫有リ即チ震顫ハ只運動ヲ企ツル際ニノミ發シ安靜時ニハ來ラズ
- (四) 諸處ノ筋肉ニ麻痺ヲ來スコト有リ屢緊縮ヲ兼ヌ

ひすてりー

(100) ひすてりー (Hysterie)

- (一) 間、喉頭筋ノ麻痺有リ
- (二) 呼吸困難ヲ來スコト有リ
- (三) 屢、鼓脹ヲ來ス
- (四) 多尿ヲ發スルコト有リ
- (五) 頭部ニ壓痛ヲ訴フルコト有リ
- (六) 脊柱ニ於テモ亦然リ
- (七) 境界不正ノ知覺鈍麻ヲ訴ヘ又眞ニ半身知覺麻痺ヲ來スコト有リ之ニ反シテ知覺過敏ヲ來シ或ハ只痛覺脫失ヲ來スコト有リ
- (八) 屢、頭痛有リ(所謂ひすてりー頭痛)又脊髓痛、假性狹

- (五) 屢、眼球振盪症有リ又黒内障ヲ來ス
- (六) 反射機ハ屢、著シク亢進ス
- (七) 屢、癲癇樣發作有リ或ハ謔語ヲ發ス
- (八) 言語ハ特異ニシテ緩徐所謂謔語ヲ發ス

心症及胃痛發作其他卵巢痛等有リ

- (九) 又精神ニ障碍ヲ來スコト有リ
- (一〇) 屢、同心狹縮性視野有リ其他自覺的聽覺及嗅味兩神ノ異常有リ
- (一一) 多少廣汎ノ麻痺ヲ來スコト有リ又麻痺セザル筋ニ緊縮ヲ來スコト有リ
- (一二) 發作性ニ間代性痙攣ヲ發シ罕ニハ強直性痙攣ヲ發ス又該痙攣ハ共ニ全身ニ互リ局發スルハ罕ナリ然レドモ發作ノ際瞳孔反射及意識ハ常ニ保存セララル者トス
- (一三) 罕ニハ強梗ヲ來ス

- (四) 咽頭反射ハ消失スルコト有ルモ他ノ反射ハ亢進スルコト有リ
- (五) 麻痺筋ニハ萎縮ヲ來スコト有リ

延髓球麻痺

(101) 延髓球麻痺 (Bulbärparalyse)

- (一) 知覺ニ異常無シ
- (二) 舌、口唇、咽頭及喉頭ノ諸筋ニ進行性麻痺及萎縮有リ又其他ノ筋ニモ同一ノ障碍ヲ來スコト有リ

- (一六) 屢、血管運動神經ニ障碍ヲ來ス
- (一七) 變性反應ハ常ニ缺如ス

- (三) 該部粘膜ノ反射興奮性ハ減退乃至消失ス
- (四) 電氣的興奮性ハ減弱シ殆ド常ニ變性反應有リ
- (五) 器械的興奮性ハ増進ス

急性及慢性脊髓炎

(1011) 急性及慢性脊髓炎 (Myelitis acuta n. chronica)

- (一) 初期ニハ熱候有ルコト多シ
- (二) 脊柱ノ局所ニハ壓痛有リ
- (三) 始、ハ知覺異常アリ後諸般ノ知覺機減弱乃至消失シ或ハ間、只痛覺ノミ消失スルコト有リ
- (四) 急性症ニ在リテハ速ニ、慢性症ニ在リテハ徐々ニ兩側ノ運動麻痺ヲ來シ其廣狹ハ炎症ノ多少ニ由リテ異ナリ刺戟症狀ハ缺如ス

- (五) 反射機ハ急性症ノ初期ニハ屢、消失スレドモ後ニ至レバ一部亢進ス慢性症ニ於テモ其亢進ヲ認ム
- (六) 常ニ尿管排泄ノ障碍有リ慢性症ニ於テハ麻痺筋ニ緊縮ヲ起スコト有リ
- (七) 麻痺筋ニ萎縮ヲ來スコト有リ疾患ノ部位ニ關ス
- (八) 電氣的興奮性ハ始、ハ亢進スルコト有ルモ後ニハ多ク減弱シ又一三ノ筋ニ變性反應ヲ來スヲ見ル

急性脊髓前角炎

(10111) 急性脊髓前角炎 小兒脊髓前角炎 (Polomyelitis anterior acuta)

- (一) 該疾患恐ク一種ノ傳染病ナランハ屢、三十九度乃至四十度ノ熱ヲ以テ始、リ且痙攣ヲ發ス

器質諸病

應用診斷法

- (二) 知覺機ニ異常無シ
- (三) 主トシテ偏側或ハ兩側ノ下肢ニ俄然弛緩性麻痺ヲ來シ罕ニハ上肢或ハ身體半側ニ之ヲ來ス而シテ此麻痺ハ屢ニ三ノ筋屬ニ於テハ再ビ消退スルモ他ノ筋屬ニ於テハ長ク留リ以テ前者ニ緊縮ヲ來シ爲シ患肢ニ畸形ヲ貽スコト有リ
- (四) 麻痺筋ニハ屢ニ纖維性攣縮ヲ來ス
- (五) 皮膚及腱ノ反射ハ消失スルモ膀胱及直腸ノ機能ニハ

痙性脊髄麻痺

(104) 痙性脊髄麻痺 (Tetanus spialis spastica).

- (一) 知覺異常ナシ
- (二) 下肢ニ全麻痺或ハ不全麻痺有リ麻痺筋ニ強キ痙硬有ルヲ以テ歩行ヲ艱ム
- (三) 腱反射亢進ス

(105) 脊髄癆 (Tuberculosis dorsalis).

- (一) 身體ノ下部ニ(多クハ只限局的ニ)知覺減弱シ間、只痛覺ノ鈍麻ニ止マルコト有リ又屢ニ知覺傳導ノ緩慢ナルヲ認ム
- (二) 深在知覺ハ早ク既ニ障礙セララルコト多シ

- 障得無シ
- (六) 麻痺筋ノ器械的興奮性ハ亢進シ且緩慢ナリ又變性反應ヲ呈ス
- (七) 麻痺筋ニハ速ニ萎縮ヲ來セドモ皮膚ノ栄養障礙ハ缺如ス
- 大人ノ急性脊髄前角炎ニ於テモ其經過ハ之ト殆ド同一ニシテ慢性症ハ唯其經過長キノミ
- (四) 膀胱及直腸ニ異常無シ
- (五) 電氣的興奮性ハ只僅ニ減少スルコト有ルノミ
- (六) 栄養障礙ヲ缺ク
- (三) 屢ニ頭痛或ハ脊背痛アリ又第一期即チ疼痛期ニ於テ知覺變常(帶狀感覺等)アリ且下肢及軀幹ニ神經痛様ノ鑽痛アリ其他内臟(胃、腸等)ニ於テモ同一ノ疼痛ヲ發ス
- (四) 筋力ニ異常無キモ第二期即チ失調期ニ於テハ下肢ノ

脊髄癆

- 共同機障礙ヲ來シ上肢ニ來ルハ罕ナリ
- (五) 反射機ハ減退シ膝蓋腱反射ハ早ク消失ス
- (六) 膀胱及直腸ニ障礙有リ又屢ニ陰痿ヲ來ス
- (七) 電氣的興奮性ハ始ハ只僅ニ亢進スルモ後ニハ僅ニ減退ス

(106) 脊髄性進行性筋萎縮 (Atrophia muscularis progressiva).

- (一) 知覺異常無シ
- (二) 始ニ麻痺無クシテ筋ノ萎縮ヲ來シ萎縮ハ始、只拇指球、小指球、骨間筋等ニ發スレドモ次第ニ上肢、軀幹及下肢ニ來ル
- (三) 常ニ纖維性攣縮有リ

(107) 筋萎縮性側索硬化 (Sclerosis lateralis amyotrophica).

- (一) 知覺機ニ異常無シ
- (二) 運動機ノ症狀ハ痙性脊髄麻痺、進行性脊髄性筋萎縮

- (四) 萎縮筋束ニ變性反應ヲ呈スレドモ之ヲ認ムルコト屢ニ難シ
- (五) 反射機ハ多少減退ス
- (六) 膀胱及直腸ニ異常無シ
- (七) 皮膚ニ栄養障礙ヲ來ス
- 及延髓球麻痺ニ於ケルト同ジ而シテ運動麻痺ハ下肢及上肢ニ來レドモ萎縮症狀ハ只上肢ニ顯著ナルヲ常トス

ブラロン、セクアルド氏麻痺

(108) ブラロンセクアルド氏麻痺 (Brown-Sequard'sche Lähmung).

- (一) 損傷側ニ知覺過敏ヲ來シ他側ニ知覺鈍麻ヲ來ス
- (二) 知覺過敏ノ側部ニハ偏側ノ運動麻痺其他血管運動神

- 經麻痺ヲ來ス
- (二) 麻痺筋ノ電氣的興奮性單ニ減退ス

脊髄性進行性筋萎縮

筋萎縮性側索硬化

器質諸病

脊髓空洞症

應用診斷法

(109) 脊髓空洞症 (Syringomyelia)

- (一) 溫神及痛覺共ニ減退スレドモ觸神ニ異常ナシ
- (二) 殊ニ上肢ニ進行性脊髓性筋萎縮ヲ來ス

(三) 其他屢、血管運動神經障礙、營養障礙及分泌障礙アリ

脊髄膜炎

(110) 脊髄膜炎 (Meningitis spinatis)

- (一) 初期ニハ屢、熱有リ
- (二) 脊柱ニ壓痛有リ
- (三) 始、ハ諸處ニ知覺過敏及痛覺過敏有レドモ後ニハ知覺脫失及痛覺脫失ヲ將來ス
- (四) 始、ハ諸筋ニ攣縮ヲ起セドモ後ニハ兩側麻痺(截癱)

ヲ來ス

- (五) 反射ハ始、亢進スルコト有ルモ後ニハ消失ス
- (六) 後期ニハ膀胱及直腸ノ麻痺ヲ來ス
- (七) 電氣的興奮性ハ始、亢進スルコト有リ

神經炎

(111) 神經炎 (Neuritis)

- (一) 患部神經ハ其經過ノ全部ニ壓痛アリ且間、肥厚ス
- (二) 知覺ハ始、侵サレタル領域内ニ於テ増進シ知覺過敏ヲ呈スレドモ後減弱シ亦只痛覺脫失ヲノミ認ムルコト有リ
- (三) 屢、深在知覺機ニ障礙ヲ來スコト有リ
- (四) 初期ニハ知覺變常並ニ神經痛樣疼痛有リ

(五) 所患神經ノ領域ニハ弛緩性麻痺ヲ起シ後萎縮及攣縮ヲ來ス

- (六) 共同機障礙ヲ來スコト有リ
- (七) 反射機ハ減弱乃至消失シ間、又一部亢進ス
- (八) 尿排泄ニ障礙無シ
- (九) 電氣的興奮性減少シ變性反應ヲ來スコト有リ

てたにー

(112) てたにー (Tetanie)

- (一) 知覺機ハ間、僅ニ減退スルコト有リ
- (二) 主トシテ前膊筋ニ發作性ニ強直性攣縮ヲ發シ罕ニハ上膊、下肢及其他ノ筋肉ニ之ヲ發ス而シテ此攣縮ハ人工的ニ上膊ノ神經幹或ハ動脈ヲ久シク壓迫スルニ因リ

テ來ルコト有リ(トルツソウ氏ノ現象 Traussensche Phänomen)

- (三) 此怪ム可キ神經ノ器械的及電氣的興奮性亢進スレドモ筋ノ興奮性ハ否ラズ

トムセン氏病

(113) トムセン氏病先天性 (Thomsen'sche Krankheit, Myotonia congenita)

- (一) 隨意運動ヲ企ツルニ際シ筋ノ強直性攣縮ヲ起シ其運動ヲ妨ク
- (二) 筋ノ肥大ヲ見ルコト有リ

(三) 筋ノ器械的及電氣的興奮性ハ亢進スレドモ神經ノ興奮性ハ尋常ナリ

- 電氣的検査ヲ行フニ筋強直性反應ヲ呈ス

進行性筋榮養障礙

(114) 進行性筋榮養障礙 (Dystrophia muscularis progressiva)

- (一) 知覺異常ナシ
- (二) 一定ノ筋屬ニ萎縮ヲ來ス(肩胛背、大腿及下腿、顔面)而シテ該萎縮ハ或ハ單純性ナル有リ或ハ殊ニ腓腸筋ニ

假性肥大ヲ來シ他ノ筋(前膊、臀部)ニ眞性肥大ヲ來ス

- (三) 纖維性攣縮ヲ缺如ス
- (四) 電氣的興奮性ハ單ニ減退シ變性反應ヲ呈セズ

血液及物質代謝機諸病

(庚) 血液及物質代謝機諸病

惡性貧血

(115) 惡性貧血 (Perniciöse Anämie)

- (一) 皮膚及粘膜炎白色ヲ呈シ皮膚ニハ間、黃色ヲ帶ビ大

澁血斑ヲ來スコト有リ

器質諸病

應用診斷法

- (一) 屢、浮腫有リ
 - (二) 勞働スルトキハ呼吸困難ヲ來スコト多シ
 - (三) 心臟間、擴張ス
 - (四) 心音屢、減弱シ殆ド常ニ假性收縮期的雜音ヲ聽ク
 - (五) 脈小ニシテ間、頻數ナリ逆衝隆起増加ス
 - (六) 第一動脈音強盛スルコト有リ
 - (七) 血液ハ異常ニ蒼白ナリ
 - (八) へもぐろびん減量ス
 - (九) 赤血球減少シ而シテ其減少ハへもぐろびんノ減少ヨリモ著大ナリ
- 異形血球症並ニ大血球症及小血球症アリ其他常ニ有核

(一六) 繼發性貧血 (Secondary Anemia)

- (一) 皮膚蒼白ナリ
- (二) 屢、浮腫有ルモ通常高度ナラズ
- (三) 勞働スルトキハ呼吸促進ス
- (四) 心音屢、減弱シ又屢、假縮收性的雜音有リ
- (五) 脈小ニシテ逆衝隆起ヲ増ス
- (六) 第一動脈音強盛スルコト有リ

(一七) 萎黃病 (Chlorosis)

萎黃病

- 赤血球(正常及巨大有核血球)ヲ見ル可シ(白血球ニハ變化ヲ見ズ)
- (一) 食慾ハ多ク全ク減損シ口臭アリ又嘔氣嘔吐ヲ來スコト有リ
- (二) 尿ノ反應ハ屢、中性或ハあるかり性ニシテ多クハ暗色ヲ呈シ間、蛋白ヲ有ス
- (三) 屢、頭痛有リ其他時トシテ網膜出血並ニ自覺的聽覺有リ
- (四) 特ニ著明ナルハ上記皮膚及網膜ノ外屢、鼻血及胃腸出血ヲ來スニ在リ
- (七) 屢、獨樂音ヲ聽ク
- (八) 血色異常ニ淡蒼ナリ
- (九) へもぐろびん減量ス
- (一〇) 赤血球數亦減少シ屢、異形血球症ヲ呈シ罕ニハ有核性ノ赤血球ヲ見ル
- (一一) 白血球ハ屢、増加スルコト有リ

發作性血色素尿

- (一) 専ラ女子ニ來ル
- (二) 皮膚ハ多少蒼白色ヲ呈ス
- (三) 屢、浮腫有レドモ多カラズ
- (四) 僅ニ身體ヲ勞スルモ呼吸促進ヲ來ス
- (五) 心音屢、強盛スルモ亦減弱スルコト有リ
- (六) 多クハ假性雜音ヲ聽ク
- (七) 脈搏頻數トナリ易シ
- (八) 第一動脈音強盛ス
- (九) 屢、獨樂音有リ
- (一〇) 血液ハ異常ニ淡蒼ナリ
- (一一) へもぐろびん量著シク減少ス

(一八) 發作性血色素尿 (Paroxysmal Hemoglobinuria)

- (一) 皮膚殊ニ顔面蒼白色ヲ呈シ皮膚及結膜ニ輕度ノ黃疸ヲ來シ間、又尋麻疹ヲ作フコト有リ
- (二) 發作ハ惡寒ヲ以テ始リ甚シキハ戰慄ヲ以テシ次デ體溫ノ昇騰ヲ來シ四十度或ハ其以上ニ達スルコト有リ
- (三) 脾臟及肝臟ハ肥大シ往々腰痛ヲ有ス
- (四) 腎臟部ニ屢、緊張及疼痛ヲ訴フ

紫斑病

(一九) 紫斑病 (Purpura)

器質諸病

- (三) 赤血球數ハ僅ニ減少シ或ハ毫モ減少スルコト無シ只其色ハ淡蒼ナリ
- 其他異形血球、小血球及有核赤血球ヲ見ル
- (三) 白血球數ハ多ク尋常ナルモ罕ニハ増加シ又著シク減少スルコト有リ
- (四) 尿量屢、增多シ比重減少ス反應ハ屢、中性或ハあるかり性ニシテ色淡白ナリ時トシテハ尿酸減少シ又蛋白ノ痕跡ヲ認ムコト有リ
- (五) 屢、白帶下其他月經障礙有リ
- (六) 屢、頭痛及眩暈ヲ訴フ
- (五) 血液ヲ檢スルニ血漿ハ血樣色ヲ帶ビ處々ニ赤血球ノ褪色セル者(血球陰影)ヲ認ム
- (六) 赤血球ノ數及血色素ノ量ハ共ニ減少ス
- (七) 分光鏡檢査上異性へもぐろびんノ吸收線ヲ見ル
- (八) 尿ハ血樣色ヲ帶ビ多クハ少量ノ蛋白ヲ含有ス

應用診斷法

ウエルホー
フ氏紫斑病

本症ニ三種アリ單純紫斑病、ろいまちす性紫斑病及ウエルホーフ氏紫斑病是ナリ單純紫斑病ハ單リ皮膚出血ヲ來ス者ヲ謂ヒろいまちす性紫斑病ハ之ニ關節疾患ヲ併發スル者ヲ謂ヒウエルホーフ氏紫斑病ハ皮膚、粘膜及肝臟ニ出血スル者ヲ謂フ然レドモ此三者ノ臨牀的症候ハ互ニ移行シ往々割然タル區別ヲ爲ス能ハザルコトアリ吾人ハ今茲ニ主トシテウエルホーフ氏紫斑病(Morbus maculosus Werlhofii)ニ就テ其症狀ヲ略述スルニ止メントス

(一) 最初皮膚出血ヲ來シ粘膜出血之ニ次グモ亦粘膜ノ出血ヲ以テ始マル者アリ

壞血病

(110) 壞血病 (Scurbok, Scorbut)

(一) 初、皮膚蒼白ト爲リ顔面土色ヲ呈シ全身倦怠ヲ來シ疲勞シ易ク且發汗ス

(二) 上記前驅症ニ次デ齒齦潮紅腫脹シ之ニ觸ルルニ容易ニ出血シ次デ齒齦ハ腫脹益々増加シ且汚穢褐黃色ヲ呈シ遂ニ壞疽ニ陥リ齒牙動搖脱落スルニ至ル

(三) 出血ハ又皮膚ニ來リ其他鼻、筋肉、骨、骨膜下、關節ノ

血友病

(111) 血友病 (Haemophilia, Hämorrhagische Bluterkrankheit)

本病ハ極テ輕微ノ外傷ニ由リ出血ヲ來シ止血頗ル困難

(二) 皮膚ハ蒼白色ヲ呈スルヲ常トス

(三) 出血ハ屢々反覆發來シ時トシテ危險ナル齒齦出血、鼻血、吐血、下血、血尿、子宮出血等ヲ來スコト有リ

(四) 結膜及網膜ニモ間々出血シ又腦出血ヲ來スコト有リ

(五) 熱ハ多クハ缺如スルモ不定型ノ體溫昇騰ヲ來スコト罕ナラズ

(六) 血液ヲ檢スルニ赤血球及色素ノ減少ヲ認ム

(七) 重症ニ於テハ殊ニ腸出血及腹膜炎性症狀ノ下ニ早く斃ルルアリ(所謂電擊性紫斑病 Purpura fulminans)

出血モ稀ナラズ又時トシテハ吐血、下血、咯血、血尿等ヲ來スコト有リ

(四) 體溫ハ多ク尋常ナルモ亦不定型ノ熱候ヲ呈スルコト有リ

(五) 血液ヲ檢スルニ血球及血色素ノ減少ヲ認ム

白血病

(112) 白血病 (Leukämie)

ル者ニシテ遂ニ之ガ爲メ生命ヲ危險ナラシムルコト有リ殊ニ最モ多キハ鱈血ニシテ皮下溢血、筋肉出血、關節出血等之ニ次ギ胃腸ノ出血ハ稀ナリ但シ緊縮出血ハ屢々見ル所

ナリ

血液ヲ檢査スルニ特有ナル所見無シ只其凝固性ニ乏シクノミ

- (一) 皮膚通常蒼白ヲ呈ス
- (二) 屢々著シテ浮腫有リ
- (三) 皮下蜂窩織ノ淋巴腺多少腫脹スルヲ常トス
- (四) 屢々呼吸困難有リ殊ニ勞働ノ際ニ多シ
- (五) 心音間、減弱シ假性收縮期的雜音ヲ聽クコト多シ
- (六) 血色淡白ニシテ稀薄、溷濁シ或ハ乳様ナリ

- (七) へもぐろびん減量ス
- (八) 白血球增多シ赤血球減少ス又異形血球、小血球及有核赤血球有リ
- (九) 脾ハ常ニ腫大シ殆ド常ニ觸知シ得可シ
- (一〇) 尿酸及全硫酸ハ多クハ増量ス
- (一一) 網膜炎或ハ網膜出血ヲ來スコト有リ

假性白血病

(113) 假性白血病 (Pseudoleukämie)

- (一) 皮膚蒼白ナリ
- (二) 屢々熱アリ間々一種ノ再歸熱狀ヲ呈ス
- (三) 淋巴腺ノ腫脹有リ
- (四) 心臟及血管ニ貧血症狀ヲ呈ス

- (五) 白血球增多スルコト無キモ赤血球著シク減少スルコト有リ
- (六) 脾腫多シ

無味尿崩症

(114) 無味尿崩症 (Diabetes insipidus)

- (一) 尿量著シク增多シ比重非常ニ低シ

- (二) 尿色ハ淡白ナルコト水ノ如ク澄明ニシテ蛋白及糖ヲ

器質諸病

應用診斷法
缺如ス

糖尿病

(一二五) 糖尿病 (Diabetes mellitus)

- (一) 皮膚常ニ乾燥スルコト多シ
- (二) 屢々著シク羸瘦ス
- (三) 間々呼吸困難有リ本微ハ昏睡ノ前兆タルコト有リ
- (四) 唾液ノ分泌減少シ唾液ハ屢々酸性反應ヲ呈ス
- (五) 尿量著シク增多シ比重甚ダ高ク色澄明ニシテ酸性反

應ヲ呈ス

化學的検査ヲ行フニ尿素、硫酸、磷酸及葡萄糖增量シ
間々あちまこんヲ増シ又屢々殊ニ後期ニ於テ蛋白其他糖
酸石灰ノ結晶ヲ見ル

(六) 神經痛有リ又網膜炎及黑内障ヲ來スコト有リ

脂肪過多症

(一二六) 脂肪過多症又肥胖病 (Polysarcia, Fettsucht)

- (一) 皮膚殊ニ顔面ニ著シク潮紅ヲ呈スルモ(多血性肥胖病)又皮膚蒼白色ニシテ蠟樣ヲ呈スル者アリ(貧血性肥胖病)
- (二) 脂肪層ハ全身ニ於テ發育盛ナリ殊ニ腹部ニ於テ最もシトス
- (三) 僅微ノ運動ニ由リテ直ニ發汗シ皮脂分泌亦増進ス

(四) 顔貌ハ魯鈍狀ヲ呈スルコト多シ

(五) 往々呼吸促進ヲ訴フルコト有リ

(六) 心音屢々減弱シ又時トシテ脂肪心ノ症狀ヲ呈スルコト有リ

(七) 腹圍ハ著シク増大ス

佝僂病

(一二七) 佝僂病 (Rachitis)

- (一) 患者ノ軀體尋常ヨリ小ニシテ管狀骨彎屈ヲ呈シ骨端隆起ス

(二) 胸廓ハ一種ノ畸形即鳩胸、佝僂病性串珠等ヲ呈シ又脊柱彎屈症ヲ兼ヌ

痛風

(一二八) 痛風又尿酸性病習 (Gicht, harnsaure Diathese)

- (三) 齒牙發生遅々タリ
- (四) 尿中磷酸ノ排泄減少ス

(五) 頭蓋ハ非常ニ大ニシテ額門長ク額サズ頭骨亦非常ニ軟弱ナリ(頭蓋癆)

(一) 時々「痛風發作」ヲ反覆ス即チ踵趾、拇指及手關節、肩

胛關節ニ著シキ發赤、腫脹及疼痛ヲ來ス殊ニ疼痛發作ハ先チ踵趾ノ蹠趾關節ニ來ルコト最多シ(所謂足痛風)

(二) 同時ニ食思缺亡、胃部膨滿、嘔吐アリ

(三) 病後ノ經過中所患關節ニ硬固ノ肥厚部ヲ貽ス(痛風結節)是レ尿酸鹽ノ沈著ニ因ル者ナリ

(四) 粘液囊、腱鞘、軟骨(殊ニ耳軟骨)ニモ痛風結節ヲ生ズ

ルコト有リ

(五) 心臟ニ於テハ心筋衰弱、狹心症其他心臟內膜炎、心囊炎、瓣膜形成ヲ來スコト有リ

(六) 動脈硬變症及動脈瘤ヲ生ズルコト有リ

(七) 腎臟ニハ慢性間質性腎炎ヲ起ス

(八) 此他肺炎、肋膜炎、氣管枝炎、喉頭炎、鼻炎、眼球炎、胃腸炎、肝臟炎等ヲ起スコト有リ

器質諸病

後編索引

| 項目 | 頁 | 項目 | 頁 |
|-----------------------|----|----------------------|----|
| 咽頭腔視診法 | 二〇 | 胃ノ分泌官能検査法 | 五七 |
| 咽頭腔觸診法 | 二〇 | 胃ノ洗滌法 | 五七 |
| 咽頭腔内容検査法 | 二〇 | 胃内容ノ排出法 | 五七 |
| 胃検査法 | 二一 | 胃内容ノ検査法 | 五七 |
| 胃ノ解剖 | 二一 | 胃内容ノ肉眼の検査 | 五七 |
| 胃ノ半月状部(トラウベ氏) | 二一 | 胃内容ノ化学的検査 | 五七 |
| 胃ノ視診法 | 二一 | 胃内容ノ顕微鏡的検査 | 五七 |
| 胃ノ人工的膨満法 | 二一 | 胃内容ノ細菌學的検査 | 五七 |
| 胃ノ下垂症 | 二一 | 胃管 | 五七 |
| 胃ノ蠕動運動 | 二一 | 胃ノ分泌過多症 | 五七 |
| 胃ノ透照法 | 二一 | 胃液缺乏症 | 五七 |
| 胃ノ鏡検査法 | 二一 | 胃液ノ總酸度 | 五七 |
| 胃ノ觸診法 | 二一 | 胃液總酸度ノ検査法 | 五七 |
| 胃ノ潰瘍 | 二一 | 胃酸過多症 | 五七 |
| 胃ノ痛腫 | 二一 | 胃酸減少症 | 五七 |
| 胃ノ打診法 | 二一 | 胃酸缺乏症 | 五七 |
| 胃ノ發音區域(トラウベ氏半 月状部) | 二一 | 胃ノ運動官能検査法 | 五七 |
| 胃ノ聽診法 | 二一 | 試驗食ヲ以テスル法 | 五七 |
| 胃擴張症 | 二一 | 化学的物質ヲ以テスル法 | 五七 |
| 胃官能検査法 | 二一 | 胃ノ吸收官能検査法 | 五七 |
| | | 胃消息子ヲ用キザル胃ノ官能 検査法 | 五七 |
| | | 胃ニ与ルチナニ(胃内容ノ)吐 | 五七 |
| | | 物中ノ) | 五七 |
| | | 遊離鹽酸(胃内ノ) | 五七 |
| | | 有機酸(胃内容ノ) | 五七 |
| | | 有鉤條蟲 | 五七 |
| | | 遺殘尿 | 五七 |
| | | 遺精 | 五七 |
| | | 陰莖ノ検査 | 五七 |
| | | 陰門ノ検査 | 五七 |
| | | 意識障礙 | 五七 |
| | | 痿弱(不全麻痺) | 五七 |
| | | いんどりる反應 | 五七 |
| | | いんぢかん | 五七 |
| | | いんぢかん尿 | 五七 |
| | | 蠟燭圓疳 | 五七 |
| | | 蠟燭機風症 | 五七 |
| | | 魯鈍 | 五七 |
| | | 老人震戦 | 五七 |
| | | ろいちん | 五七 |
| | | ロイペリデル氏試驗食 | 五七 |
| | | ロイペ氏法(胃ノ運動検査法) | 五七 |
| | | ローランド氏線 | 五七 |
| | | ロムベルグ氏症候 | 五七 |
| | | 煤色舌 | 五七 |
| | | 放線狀菌 | 五七 |
| | | 放屁 | 五七 |
| | | 紡錘狀菌 | 五七 |
| | | 胞子蟲 | 五七 |
| | | 包蟲(尿中ノ) | 五七 |
| | | 包皮脂菌 | 五七 |
| | | 膀胱検査法 | 五七 |
| | | 膀胱鏡 | 五七 |
| | | 膀胱ノ消息子検査法 | 五七 |
| | | 膀胱鏡検査法 | 五七 |
| | | 膀胱裡念後重 | 五七 |
| | | 醗酵素ノ検査 | 五七 |
| | | 醗酵菌(胃内容ノ)吐物中ノ) | 五七 |
| | | 醗酵試驗法(尿中糖ノ) | 五七 |
| | | 醗酵試驗管 | 五七 |
| | | 醗酵驗精器(アインホルン氏) | 五七 |
| | | 發作性血色素尿 | 五七 |
| | | 發語失調 | 五七 |
| | | 發語不能 | 五七 |
| | | 煩喝症 | 五七 |
| | | 反射中樞 | 五七 |

索引

| | | | | | | | |
|----------------------|-----|---------------------------|-----|---------------------|-----|---------|----|
| 肝臟視診法 | 一六九 | ちん試験法 | 三三三 | 唾液ノ化學的検査 | 二五 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 肝臟觸診法 | 一七〇 | カテラン氏分尿器 | 三三三 | 蠕動不安 (胃ノ) (二五) (腸ノ) | 二五 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 肝臟打診法 | 一七〇 | ヨ | 二二〇 | 大便検査法 | 二二六 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 肝臟濁音部 | 一七〇 | 腰穿刺術(クワンケ氏) | 三六六 | 肉眼的検査 | 二二九 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 肝臟濁音ノ増大 | 一七〇 | タ | 三六六 | 化學的検査 | 二二九 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 肝臟濁音ノ狭縮 | 一七〇 | 膽汁嘔吐 | 九六 | 顯微鏡的検査 | 二二九 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 肝腫 | 一七〇 | 膽色素 三三〇(大便中ノ) (三六六) (尿中ノ) | 九六 | 細菌學的検査 | 二二九 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 隔離性痙攣 | 一七〇 | 膽色素試験法 (二三) (吐物中ノ) (三七) | 九六 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 隔語 | 一七〇 | (尿中ノ) | 九六 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 攪風 | 一七〇 | 膽酸(尿中ノ) | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 下肢ノ運動検査 | 一七〇 | 膽汁便 | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 開時攣縮 | 一七〇 | 膽石 | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 間代性痙攣 | 一七〇 | 多尿症 | 三三五 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 感傳電氣検査法 | 一七〇 | 多尿症 | 三三五 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 驚口痙攣 | 一七〇 | 多尿症 | 三三五 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 顔面神経痙攣 | 一七〇 | 類敗物固着 | 三三五 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 眼眩暈 | 一七〇 | 炭酸石灰(尿中ノ) | 三三五 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 眼珠突出(痙攣性) | 一七〇 | 蛋白質(尿中ノ) | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 眼珠震盪症 | 一七〇 | 蛋白質(尿中ノ) | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 芽生菌(大便中ノ) (二九) (尿中ノ) | 一七〇 | 蛋白質(尿中ノ) | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| かり試験法(尿中糖ノ) | 一七〇 | 蛋白質(尿中ノ) | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| かたれぶし | 一七〇 | 短頭 | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| かたれぶし(性強直) | 一七〇 | 他側知覚 | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| カスベル氏尿管膀胱鏡 | 一七〇 | 帶狀感覺 | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| カスベル氏複流尿管膀胱鏡 | 一七〇 | 唾腺 | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| カスベル及リヒテル氏ふろり | 一七〇 | 唾液減少 | 三三八 | 大腸閉止 | 二二八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |

なな條蟲(矮小條蟲)

| | | | | | | | |
|---------------------|-----|------------|-----|--------------------|-----|---------|----|
| なな條蟲(矮小條蟲) | 一六八 | 膿性嘔吐 | 一〇〇 | グレイフ氏症候 | 四八五 | 痙攣 | 四三 |
| 酪酸(胃内容ノ) | 一六八 | 膿便 | 一〇〇 | ヤクシユ氏試験法(尿中糖ノ) | 三三四 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 卵圓條蟲(瓜實條蟲) | 一六八 | 膿尿 | 一〇〇 | ヤクシユ氏ちあせと試験法 | 三三五 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 螺旋菌距離 | 一六八 | 膿試験法(ドンチ氏) | 一〇〇 | ヤツフェ氏試験法(尿中いんちかんノ) | 三三八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| らくむす試験紙 | 一六八 | 膿ノ血管配布 | 一〇〇 | マ | 三三八 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 無鉤條蟲(巨頭條蟲) | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性徑路 | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 無尿症 | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| むらん(粘液素ヲ看ム) | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 痙攣 | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 運動性徑路(神経ノ) | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 運動中樞(神経ノ) | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 運動知覚 | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 運動機検査法 | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 運動性皮質性失語症 | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| 運動性失音症 | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| うろめーてる(尿重計) | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| うろびりん | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| ウアンサン氏あんきな | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| ウツフェルマン氏法(胃液中乳酸ノ試験) | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |
| ウツフェルマン氏試験薬 | 一六八 | 痙攣性痙攣 | 一〇〇 | 末梢性運動性單位(第二位運動性單位) | 三三七 | 痙攣性眼珠突出 | 四三 |

終

